



モスクワ日本人学校

しらかば

第8号

モスクワ日本人学校
一人一人が輝く学校
笑顔あふれる学校

児童生徒数 105名

(E-mail)

school@mosnichi.com

(URL)

<http://www.mosnichi.com>

日本人学校のアイデンティティ

校長 石川 賢

「感動」の学習発表会でした

十月三十日から十一月一日まで、オランダ、ロッテルダムで開催された北米・欧州地区日本人学校(24校)校長研究協議会に参加してきました。学校規模、児童生徒数、国の状況等、それぞれの日本人学校を取り巻く環境は様ではなく、今回の協議会のテーマ「日本人学校のアデンティティ」や「危機管理」についても、画一的な回答はありません。しかし、いずれも日本人学校として模索し続けなければならないテーマです。改めて、「モス日の使命とは？」という問いに思いを巡らせた三日間でした。

「モスクワ日本人学校規則」には「モスクワ在留邦人の強い願いにより設立された学校」「学校の運営は運営委員会が保護者の意志を尊重して行う」とありますが、設置者や法的位置付けが明記されてはいません。しかし、モス日は五十二年の歳月を重ねている学校です。その事実は、モス日が常に自律した学校であったことを端的に物語っています。その自律性は大切にしたいと思います。

一週間ぶりにバスを迎えていたら「校長先生、おかえりなさい」「今日帰ってきたんだね」と、子どもたちが笑顔で声を掛けてきました。

日本人学校のアイデンティティとは、魅力ある授業を通して、子どもたちに本当の力を付けていく学校をつくっていくことに他なりません。校舎内に響く歓声を聞き、あふれる笑顔にふれ、そう確信しました。

休憩時間に、学校のステータスが話題に上りました。日本国内なら、この類のことが話題になることはあり得ないことですが、「拠って立つ」その大元のところから考えなければならぬのが「外国」にある学校のさだめのように思います。